



UACJ

Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

サステナビリティを中心に据えた UACJの企業経営

代表取締役社長
石原 美幸



企業経営の中心にサステナビリティを据えて

UACJグループ理念

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。



企業理念

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

目指す姿

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

価値観

- ▶ 相互の理解と尊重
- ▶ 誠実さと未来志向
- ▶ 好奇心と挑戦心

サステナビリティへの考え方

「100年後の軽やかな社会のために」

サステナビリティ基本方針

1

受け継いできた叡智と情熱で

創業以来の探求心と、技術と知恵を結集したイノベーションでより便利な社会、持続可能な地球環境を追求します。

2

すべてのステークホルダーの皆さまとともに

事業を通じて向かい合う関係者はもとより、いろいろな形で関わりあう社会を思い、グループ内外の人々と協調、協働して持続可能な世界への貢献を実現します。

3

一人ひとりの多様な個性で

国籍、性別、年齢、障がいの有無などの違いに関わらずさまざまな人材を尊重し、その考えやスキルを活かすことで、既成概念にとらわれない自由な発想で課題解決に取り組みます。

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ



持続可能で豊かな2030年社会の実現に向けた、UACJの貢献を描く将来ビジョン

＜外部環境変化から予想される未来の社会＞

社会構造の変化

- ◆ 新興国の経済成長による購買力と需要の向上
- ◆ 人口減少による国内の市場縮小

持続可能な社会の実現

- ◆ 社会全体で地球環境を保護する意識の高まり
- ◆ 豊かな社会と持続可能な社会の両立へ

技術革新

- ◆ モビリティ革命による素材の新たな用途が拡大
- ◆ デジタル技術の革新によるビジネスモデルの変化

ニーマルサンマル

UACJ VISION 2030

- 成長分野や成長市場の需要捕捉により、より広く社会の発展に貢献する
- 素材+αで、バリューチェーン及びサプライチェーンを通じた社会的・経済的な価値の向上に貢献する
- 新規領域*への展開により、社会課題の解決に貢献する
- 製品ライフサイクルでのCO₂削減により、環境負荷の軽減に貢献する

第3次中期経営計画策定時からのあゆみ

「コーポレートスローガンの策定」が、UACJグループにおけるサステナビリティ経営のスタート地点



理念実現のための行動指針

UACJグループ理念

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する

UACJウェイ

「安全第一とコンプライアンス」を企業活動の基盤とし、
【相互の理解と尊重】【誠実さと未来志向】【好奇心と挑戦心】の3つの価値観を大切に行動する

UACJグループ行動規範

リスクマネジメント基本方針

サステナビリティ基本方針

マテリアリティ
(重要課題)

気候変動への対応

製品の品質と責任

労働安全衛生

人権への配慮

多様性と機会均等

人材育成

環境基本方針

品質基本方針

安全衛生基本方針

人権基本方針

安全とコンプライアンス



マテリアリティ(重要課題)とKPIの設定

2030年で描いた姿に到達するため、積極的な取り組みを進める

マテリアリティ	評価指標	2021年度実績	2023年度目標	2030年度目標
気候変動への対応	サプライチェーン全体でのCO ₂ 排出量の削減量	気候変動対策推進委員会の立ち上げ、中長期目標の設定	2030年度目標に向けての具体的な施策の立案と実行	<ul style="list-style-type: none"> ・Scope1, 2:30%削減(2019年度比・原単位) ・Scope3: サプライチェーンの様々なパートナーとの協業によるリサイクル最大化、かつサプライチェーン全体でのCO₂排出量最小化
製品の品質と責任	重大品質不具合件数	4件	1件以下	ゼロ
	客先クレーム件数(素材有責)	19.9%減(前年度比)	前年度比10.0%	2020年度比半減
労働安全衛生	重篤災害発生件数	ゼロ	ゼロ	ゼロの継続
	総合度数率	0.25	0.25	0.08
人権への配慮	人権デューデリジェンス実施と、結果を踏まえた目標づくり、アクションプランの実行	2製造所で実施	4製造所で実施	当社グループの国内および海外の主要な事業所で実施
	行動規範、人権、ハラスメント関連の教育実施率	90% (ハラスメント防止研修は100%実施率継続)	96% (ハラスメント防止研修は100%実施率継続)	100%
多様性と機会均等	管理職(役員含む)に占める女性比率	2.2%	4.0%	15%以上 (最低15%を目標とし、政府目標30%を可能な限り目指す)
人材育成	後継候補者計画の実施率	課長職以上(単体)100%	国内グループ会社に展開	100%
	重点分野に関する教育支援活動の受益者数	446人/年	800人/年	1000人/年

マテリアリティ(重要課題) - 気候変動への対応

選定理由

- アルミニウムの特性を活かした製品とサービスの提供を通じて社会全体でのCO₂削減に貢献できる。
- アルミニウムのリサイクル特性を活かし追求することが、サプライチェーン全体の温室効果ガス発生抑制につながり、社会貢献度が高い。

評価指標

サプライチェーン全体でのCO₂排出量の削減量

2021年度実績

気候変動対策推進委員会の立ち上げ、中長期目標の設定

2023年度目標

2030年度目標に向けての具体的な施策の立案と実行

2030年度目標

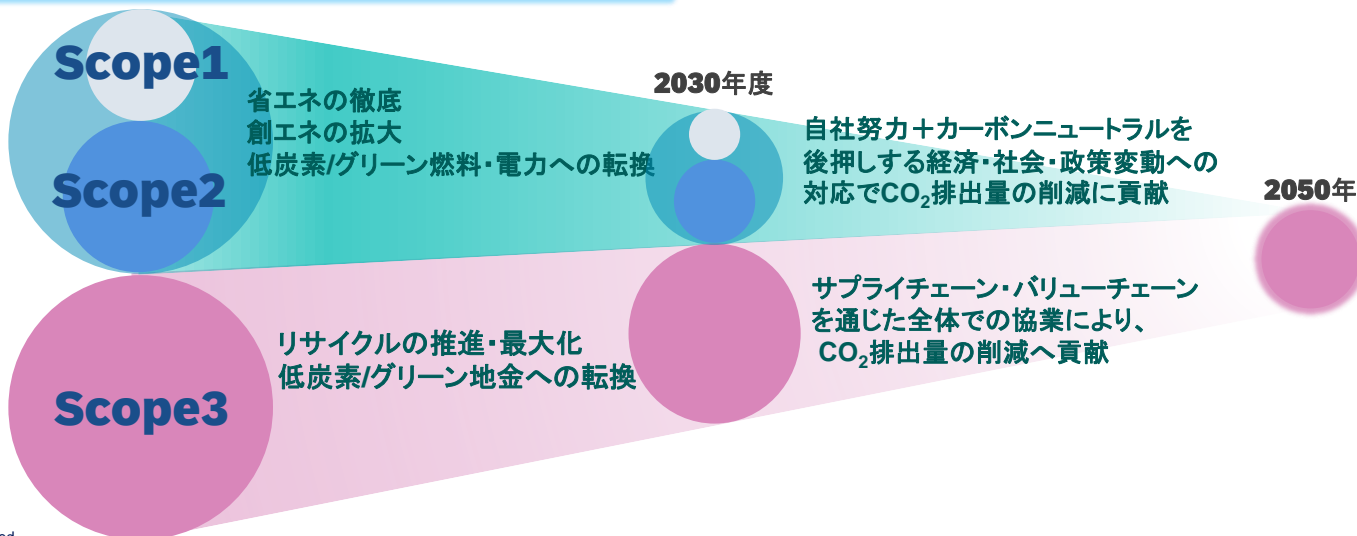
- **Scope1・2** **30%削減**
- **Scope3** サプライチェーンのさまざまなパートナーとの協業による
リサイクル最大化、かつサプライチェーン全体でのCO₂排出量最小化

2050年 カーボンニュートラルに向けて

活動指針

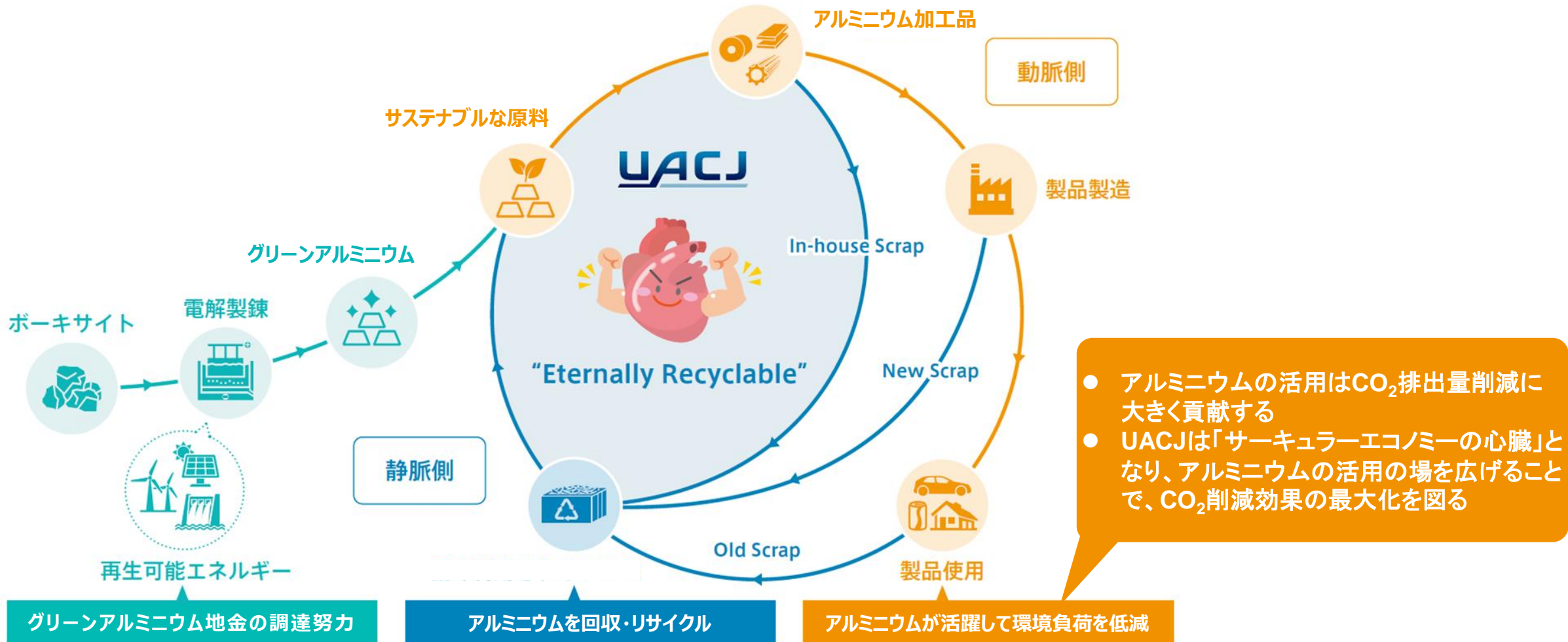
- Scope1・2においては、2050年カーボンニュートラルへ挑戦
- Scope1・2においては、2030年度 30%の削減を目指す
- Scope3においては、サプライチェーンの様々なパートナーとの協業に取り組み、リサイクル最大化、かつ、サプライチェーン全体でのCO₂排出最小化を目指す

Scope別のCO₂排出量と今後の削減イメージ



軽やかな世界の実現への貢献：アルミでつくる循環の輪

循環型サプライチェーンの形成を主導し、アルミニウムを通じた環境価値を提供



100年に亘り究めてきた「技」と「術」を集結し、アルミの可能性を拓ける



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界



好奇心と挑戦心の実現 - 防災・減災への貢献：水の架け橋



水の架け橋

広域災害による飲料水不足対策として、自治体・企業間で備蓄情報をデータベース化して共有し、万が一の災害時にはアルミニウム缶備蓄水を供給しあえるネットワークを提供する事業。

「防災・減災」「地球環境課題」への貢献を目指す。

社内ベンチャー制度「UACJ Innovators」事業化第一弾。

<https://mizuno-kakehashi.com/>

アルミボトル缶備蓄水の販売

「アルミニウムの長所」である
ガスバリア性を活用した長期保管

PETボトルからの置き換えによる
環境問題 解決への貢献

防災「自助」「共助」への貢献



共有クラウドシステム運用

「困った時は助け合う」
飲料水不足の不安解消

自治体と民間との連携

法人企業・市区町村向け



いつでも どこでも あなただけの空間を

「UACJ Innovators」(社内ベンチャー支援制度)事業化案件

軽量、コンパクトな折りたたみ構造で

「フェーズ・フリー」な使い方が可能なパーソナル・ブース【origami™】

- オフィスでは多様な働き方を支えるワーク・スペースとして
- 災害時の避難所などではパーソナル・スペース確保のために

アルミの軽さを生かした折りたたみ構造だから



搬送や設置が楽、
スペースに合わせた移動やレイアウト変更が簡単



使わない時は半分の奥行に折りたためるコンパクト設計



熱伝導性が良いアルミ構造なので、設置場所の空調環境に馴染みやすくブース内が快適



2022年10月3日から製造・販売開始

製品HP <https://origami.uacj-group.com/>

好奇心と挑戦心の実現 - 防災・減災への貢献：水用心



豪雨時の建物浸水を防ぐ止水板 水用心™

頻発するゲリラ豪雨等による水害被害を少しでも減らすため開発。

「防災」「減災」への貢献を目指す。



設置イメージ

- 押出の形状でつなぎ目をずれにくくする技術などを応用
- 土嚢不要
- 一人でも簡単に設置可能

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。

また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

財務本部 IR部

web-contact-ir@ml.uacj.co.jp

<http://www.uacj.co.jp>

(東証プライム 証券コード : 5741)



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界